

Purpose

現在、世界では淡水が不足しており、世界中で水の取り合いがおこなれている。実は日本最大の淡水湖である琵琶湖も2023年に記録的水位の低下が生じた。また、地球温暖化や湖岸の開発によってヨシ原が減少するなど生態系が脅かされ、水の浄化機能も危ぶまれている。そのような現状を打破するために、私たちはプロジェクトに着手した。



method

私たちは琵琶湖に生えているヨシを用いて使い捨て自然分解性紙皿を製作した。一次効果として、洗い物による水の消費を減らすことができる(1食あたり60L)。二次効果としてヨシ原の循環効果が期待できる。ヨシは毎年刈り取りが必要で、その利活用促進が求められている。三次効果としてカーボンニュートラルに貢献できる。ヨシはたった3か月程度で4mまで成長し大きな炭素固定効果が期待できる。



リード琵琶プロジェクト
～新しいヨシ製品の開発で守る日本の水と生態系～
滋賀県立虎姫高等学校



Initiatives

令和6年度の学園祭において150食分の製品を使用した。使用感も好評で今後の発展を考える機会となった。



vision

現在は次の3つの観点から、新たなプロジェクトを立ち上げ、活動の波及を考えている。

【紙皿を使用してもらう企業と連携】

・7月に高校生ビジネスプラン交流会に参加。

【教育という側面からアプローチ】

・小学校でこの紙皿をつくる出前授業を県内で計画中！

・市内の子ども向けイベントも画策中。11月中旬に開催予定。

【観光という側面からアプローチ】

・市内でヨシ皿体験アクティビティを展開予定。